

# 白布ヶ丘だより

# 1月

…学校と家庭・地域の架け橋…

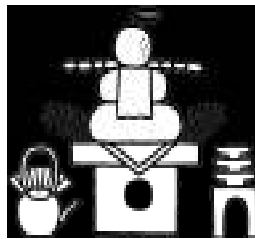
発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

新年あけましておめでとうございます。今年も本校教育に対し、ご理解・ご協力をよろしく  
お願いいたします。さて、3年生は大学受験本番の年になりました。「現役生は最後の最後まで  
実力が伸びる」とは言い古された言葉ではありますが、可能性を信じて、残された時間を有効  
に活用して希望を実現してほしいと願っています。また、健康管理は隠れた入試科目という  
言葉もあります。特に疲労が蓄積している受験生にとって風邪は要注意。万全の体調と平常心  
で受験に臨んでほしいと思います。

## 1月行事予定



- 8日(木) 始業式 課題テスト(1・2年)
- 10日(土) サタデーセミナー(1・2年)  
バスケットボール新人大会(~11日)
- 11日(日) 卓球県予選大会
- 15日(木) 自転車安全点検
- 16日(金) センター試験受験直前指導
- 17日(土)~18日(日) 大学入試センター試験
- 17日(土) 中部地区バドミントン新人大会(シングルス)予選
- 18日(日) 全国高校弓道大会県予選
- 19日(月) センター試験自己採点(受験者)
- 20日(火) 第5回校内模試(1・2年、~21日)
- 23日(金) 中部地区バドミントン新人大会(シングルス)本選
- 空手道関東選抜大会(~25日)
- 24日(土) 進研学力テスト(1・2年)  
東関東アソシエイトコンテスト  
柔道選手権大会  
県高校新人剣道大会
- 25日(日) 中部地区バドミントン新人大会(ダブルス)
- 29日(木) 小論文テスト(1・2年)
- 30日(金) PTA3学年委員会
- 31日(土) 東大レベル模試(2年希望者)  
中部支部高校弓道新人大会  
卓球中部支部新人大会

## 校内マラソン大会

12月16日(火)真岡市の井頭公園にて、  
第49回校内マラソン大会が行われました。  
当日は好天に恵まれ、絶好のマラソン日和  
の中、約10Kmのコースに全校生がチャレ  
ンジいたしました。結果は以下の通りです。

団体成績	
優勝	2年6組 (得点136.1点)
準優勝	2年5組 (得点212.5点)
第3位	2年1組 (得点249.9点)
第4位	1年3組 (得点254.4点)

個人成績	
第1位	渡辺 葉月 (2-4)
第2位	高林 亮吾 (2-4)
第3位	郡司 真弥 (1-4)
第4位	開沼 和紀 (1-3)
第5位	岡田 亮平 (2-6)
第6位	佐伯 哲郎 (2-6)
第7位	阿久津 司 (2-2)
第8位	大柿 隼 (2-6)
第9位	越雲 龍馬 (1-6)
第10位	神山 恭一 (1-6)

## 芸術鑑賞会

12月11日(木)、真岡市民会館において芸術鑑賞会が行われました。今年和太鼓  
音楽集団「東京打撃団」を招き、日本の伝統  
芸能でもある和太鼓の演奏を堪能しました。  
「東京打撃団」は、1995年に平沼仁一氏  
を代表に結成され、国内はもとより海外でも  
幅広く活躍しているグループです。サッカー  
のワールドカップの閉会式に日本を代表する  
音楽として参加した実績もあります。

地響きを起すような力強い演奏やアクロ  
バチックなばちさばき、情緒的な篠笛の演奏  
など、驚きと感動が連続する鑑賞会となりま  
した。当日は、保護者の皆様や学校評議員の  
方々にもご参加いただきました。  
なお、来年度の芸術鑑賞会は真岡市民会館  
に武蔵野音楽大学管弦楽団を招いて、平成21  
年10月30日(金)に開催する予定です。保護者  
の皆様等には改めてご案内申し上げますの  
で、その節はよろしくお願いいたします。

## 学校における敷地内 禁煙のお願い

本校では「健康増進法」の趣旨  
を踏まえ、生徒等の健康保持増進  
や喫煙防止教育を一層推進するた  
めに、平成21年1月1日より、  
敷地内全面禁煙といたしました。  
つきましては、趣旨をご理解上、  
よろしくご協力くださいますよう  
お願い申し上げます。

# センター試験 17日(土)・18日(日)

1月17日(土)、18日(日)の2日間にわたって大学入試センター試験が実施されます。

本校生は、「特別措置」で受験する生徒以外は、作新学院大学(宇都宮市竹下町908)が受験会場となります。

試験当日の道路・交通機関は混雑が予想されます。予め試験会場までの交通手段を確認しておくとともに、雨・雪などの可能性もありますので、その対応策も検討しておくようにしましょう。

## ○センター試験の時間割について

17日 (土)	公民	9:30~10:30
	地理歴史	11:15~12:15
	国語	13:30~14:50
	外国語	筆記 15:35~16:55 リスニング(英のみ) 17:35~18:35

18日 (日)	理科①	9:30~10:30
	数学①	11:15~12:15
	数学②	13:30~14:30
	理科②	15:15~16:15
	理科③	17:00~18:00

※理科①「理科総合B」、「生物I」  
数学①「数学I」、「数学I・数学A」  
数学②「数学II」、「数学II・数学B」  
理科②「理科総合A」、「化学I」  
理科③「物理I」、「地学I」

※今年高校に入学する生徒(現中3)が受験するセンター試験から理科と地理歴史・公民科(社会科)の受験科目の組合せが変更になることが決定しています。

## ○大学入試センター試験とは

正式名称は「大学入学者選抜大学入試センター試験」で、大学入試センターが実施する試験のことです。国公立大学(一部の大学を除く)の入試は基本的にセンター試験と各大学が実施する個別学力検査の結果を合わせた成績で合否が決定されます。私立大学でもセンター試験を利用した入試を実施する大学が増えています。(21年度入試では484大学の1,366学部で実施)

センター試験は毎年1月中旬(13日を越えた最初の土日)2日間にわたって行われます。すべてマークセンス方式(通称マークシート方式)で実施され、コンピュータで採点されます。

内容は大学受験の基礎的な学力を問うもので、教科書の内容を十分理解していれば対応できるものです。しかし、基礎とは言っても決してやさしい内容ではありません。センター試験の受験を希望する生徒は、1・2年生の早い段階から大学受験に対応した実力身につけてほしいと思います。また、多くの国公立大学は5教科7科目の受験を課しているの

で、苦手教科を克服することも大切です。センター試験は全国平均点が6割前後になるように出題されています。全国平均点を上回ることは努力次第で決して困難なことをとて、今後の対策を立てることをお勧めいたします。なお、校外模試の結果を見ると、努力不足のため、本来の実力を発揮していないと思われる生徒が増えているように思われます。今後、より一層の努力をしていくことを期待しています。

## ○全国のセンター試験受験者数について

今年度、センター試験に出願した人数は約54万人。高校3年生の5人に2人が出願した計算になります。大学入試センターの発表によると、出願者数は543,979人(現役431,261人、浪人106,133人、高卒認定試験・その他6,585人)で、前年度より0.1%の増加となっています。

現役生徒の出願率は約40.4%ですが、現役生徒の大学志願率が53.5%(昨年度の数字。普通科のみでは61.9%)程度ですので、大学進学希望者の多くがセンター試験に出願していることがうかがえます。

高校卒業者数は毎年、前年度比で約2%の減少を続けています。(昨年は例外で5.1%の減少)また、浪人数も毎年2~3%ずつ減少していますが、大学志願率の増加により、センター試験の受験者は増加の傾向にあります。高卒者が減少しているからといって、大学が合格しやすくなっているとは限らないようです。特に、国公立大学にこの傾向が強いようです。

豆知識として、現役志願率の最も高い県は富山県(51.3%)です。東京(48.3%)は第4位。隣の群馬県(44.5%)は第7位となっていますが、なぜかこれらの都県の自己採点結果の平均点も高いようです。栃木県の現役志願率は前年と比較して減少しています。

## ○センター試験後の日程について

- ①正解等の発表 1月17日(土)18日(日)  
※翌日の新聞に問題と正解が発表されます。また、予備校等のホームページには試験当日から、順次問題や正解が掲載されます。  
※受験生は、結果に一喜一憂しないためにも17日の自己採点はしない方がよいでしょう。  
※問題が発表されたら、1・2年生も是非解いてみてはいかがでしょうか。今後の対策などに役立つと思います。
- ②自己採点 1月19日(月)  
※出願のための大切なデータとなります。正確な自己採点を心がけましょう。(結果に一喜一憂しないことが重要)
- ③平均点等の中間発表 1月21日(木) 予定
- ④得点調整有無の発表 1月23日(金)
- ⑤国公立大学出願  
1月26日(月)~2月4日(水)
- ⑥平均点等の最終発表 2月5日(木) 予定
- ⑦成績開示 4月16日(木)以降